# MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西より発信！

No. 225



【発行・編集】
MASUKI情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL　090-3710-4815
FAX　06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp


● 祝祭日には国旗を掲げましょう・卒業式には「仰げば尊し」を！

# いかにして「日本人」として生きるか
## HEAVNESE・マレさんからのメッセージ

オンライン授業も結構、しかし忘れるな
『道徳』。オンラインはツール、手段の話。
大事なことは子供に何を教えるか。
NPO法人百人の会　増木重夫

■■■

# 議会質問・議員・自治体等からの報告

## ＮＨＫ受信料の支払猶予並びに免除を求める要望書

R2-6-2 NHKを正す地方議員の会

先日、Ｎ国の離党・除名組の５人の地方議員で結成した「ＮＨＫを正す地方議員の会」として武漢ウイルスによる緊急対応として受信料の減免の要望書を提出してきました。ご報告まで。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和２年６月２日
日本放送協会　会長　前田　晃伸　様
ＮＨＫを正す地方議員の会
代表　江東区議会議員　二瓶　文隆
中央区議二瓶文徳　豊島区議沓澤亮二
大田区議植田智一　八王子市議若林修

**ＮＨＫ受信料の支払猶予並びに免除を求める要望書**

この度の中国武漢から発生した新型コロナウィルス感染症の拡大は、世界中に猛威をふるい、生活困窮者が増大し、世界経済に大きな影響を及ぼしております。緊急事態宣言に基づく自粛要請により、経済活動が停止する期間が約２ヶ月続きました。東京都の私達の地域においても、多くの住民から家計は混乱をきたし、収入が激減して、水道光熱費の支払いにも窮するといった生活困窮に対する不安の相談が多く寄せられております。

政府の新型コロナウィルス感染症対策本部は、「生活不安に対応するための緊急措置」の中で、「電気料金等の公共料金の支払いが困難な事情がある者に対して、その置かれた状況に配慮し、支払いの猶予等迅速かつ柔軟にするよう」に要請しております。

この要請に基づき、ＮＨＫ受信料については、新型コロナウィルスの影響を受けた中小企業や個人事業者に対して、２ヶ月間の免除との対応をしていますが、個人世帯に対しては支払い猶予の相談対応に留まっています。しかし、今回は過去の大規模災害を上回る未曾有の情況で、第２波・第３波の危機を抱えながら、先の見えない社会生活の回復状況を踏まえた対応を求めます。そこで、緊急措置に基づく要請の一貫として、下記の事項の取組みを要望致します。

記

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会生活に影響を受けている世帯に関する１年間の受信料免除や各種割引に関する特例措置の実施を求める。

以　上

## 関西の主婦Ａ.Ｓより

誰もＮＨＫ受信料免除については言わないのか!?と、夫とも怒っておりました。ＮＨＫは日本一恵まれた会社。不景気だろうが常に受信料を奪取。税金だって収入が少なくなれば額が減るというのに受信料は減りません。我が家も年に BS 含め 25000 円ほど払います。夫婦二人の水道料金が節約して年に 32000 円程度に比べ、ＮＨＫが 25000 円?高すぎませんか?おかしな番組も多く、言葉遣い最低なチコちゃん何たらの下らなさは一体何なのか。ニュースのキャスターの余計なコメントはなにさまのつもりか?熟語にルビをふるのではなく、漢字と平仮名にして意味も取れない表記にわざわざしたりする。１億総阿呆化を狙っているのでしょうか?大河ドラマや自分で企画した展覧会(それも、何の意図かわざわざ展示会、と言ってみたりする)関連のマッチポンプのような番組を作って並べる。世論調査を分からないように(悪質です)誘導する。見たくもない東京の天気予報をまるで日本中の天気のように汚いＮＨＫの前から放送する。女優をことさらに俳優と言う。その他偏向した内容にいつも呆れ果てています。

早くスクランブルでもかけて、見た分だけの受信料を支払いにしてほしい。いつまでも、テレビ所有というだけで受信料を年貢のように納めるというのは、おかしいです。毎年ＮＨＫの予算を諸手を上げて通す政治家の度量の大きさ(皮肉)に呆れます。この前京都のＮ議員などまるでＮＨＫ礼賛のような発言、こんな人二度と投票しない!と固く決意しました。

以下は内緒の話ですが、ＮＨＫのそこそこ偉いさんで退職した人。在任中海外出張頻繁、そのマイルで家族で海外へ出かけていました。年俸は２千万に近く、定年前に沢山の退職金を貰い、子会社に天下り。更に次にも。それぞれで退職金を貰う。年休は思いのまま、人間ドックは妻も１万円で帝国ホテル宿泊。リストラなんて、全社、金輪際ない。この原資は自分が汗水たらして稼いだお金ではなく、左うちわで入ってくる受信料ですよ?

今の世の中に、変じゃないですか?私の感覚では年に１万円程度で充分。さもなくばこれからは見た分だけの支払いにして、足りなければ業務を縮小するべきです。政治家もマスコミが怖くて楯突けないのでしょうね。あんなに日本の政治を軽んじられながら、良い面の皮ではありませんか。裏でＮＨＫのプロデューサーたちが高笑いしているでしょうよ。

これまで溜っていた怒りを放出してしまいました。ＮＨＫには日本全国全員受信料を半額にはしてもらいたいです。あの、肥大化した殿様体質を何とかしてくれる人は現れないのでしょうか。野党も追求する先を間違えてます。弱みでもあるんですかね。あるのでしょうね。

## 香港情勢に関する声明

R2-5-27　日本維新の会

香港では昨年の月以降、逃亡犯条例改正をめぐってデモ隊と警察の衝突により多数の死傷者が発生するなど暴力が深刻化、人権を侵害する事態に発展した。日本維新の会は同１１月、

こうした香港情勢を深く憂慮し、中国政府や香港特別行政区政府に平和的な対話を通じた解決などを求める党声明を発出、参議院に決議案を提出した。

我が国と香港は、経済・文化的な交流を通じ、緊密な関係を築き上げてきた。香港が「一国二制度」の下、自由で開かれた社会を安定的に繁栄させていくことは、我が国を含めたアジア太平洋地域の発展に大きく寄与するものと確信する。2019年8月26日のG7首脳宣言においても、香港の高度な自治権を認めた1984年の英中共同宣言の存在と重要性が再確認されている。しかるに、中国の全国人民代表会議で28日、市民の基本的人権を著しく制限する「国家安全法」を香港に導入する議案が可決されようとしている。

中国が同法を直接制定すれば、1997年7月の返還から保障されてきた香港の高度な自治と「一国二制度」は崩壊する。中国本土と同様に共産党政権への批判的言論や抗議活動は禁じられ、香港から自由と民主主義が潰える。香港への統制を強めんとする中国の動きに対し、強い懸念と憂慮を表明する。中国政府に対し、香港が「一国二制度」の下、自由で開かれた社会を維持することの重要性を訴えるとともに、国家安全法の導入を撤回し、統制強化の動きを自制するよう強く求める。香港特別行政区政府には、香港議会の承認を経ない国家安全法制定を支持することなく、自由・民主主義・人権の尊重・法の支配という現代社会の普遍的価値に基づいた行動をとることを求める。

日本政府には、中国に毅然と抗議表明する欧米諸国と歩調を合わせ、中国政府に香港への国家安全法導入の撤回を促し、自由で開かれた香港が維持されるよう働きかけることを求める。また、香港に駐在する日本企業や在留邦人らの安全確保に尽力することを要請する。

# 和田有一朗兵庫県議ら、連続ヒット！

## ■台湾のWHO参加を要望 兵庫県議会が意見書可決

2020.3.26 19:40 Twitter

兵庫県議会は25日、台湾のWHO（世界保健機関）年次総会へのオブザーバー参加を求める意見書を全会一致で可決した。

都道府県議会レベルでは全国初の意見書という。意見書では、保健衛生分野で豊富な経験を持つ台湾のオブザーバー参加を妨げてはならないと指摘。実現に向け、WHOへの働きかけを強化するよう求めた。

台北駐大阪経済文化弁事処（大阪市）は「兵庫県議会の意見書提出を歓迎し、感謝している。関西の各議会から台湾のWHO参加への支持の輪が広がれば」とコメントした。

～～～

# 各位。各団体等からの報告。ご意見

## 国旗掲揚絶対反対！

5/2　京都北山細野の神主　中村重行

**この日（憲法記念日）だけは日の丸を挙げたくない（意地でも）**

祝日は雨でない限り国旗を揚げていますが今日（憲法記念日）は国旗は毎年挙げていません。

こんな屈辱的な憲法記念日を何時までも祝う気はありません。一日も早く破棄して新憲法を定めるべきだと思います。だけれども、憲法改正を半世紀も党是にしながら保守系国民をだまし続けてきた自民党には憲法改正を期待していません。自民党が三分の二以上の議席を占めて憲法改正に踏み切っても連立の公明党の横やりで改正には程遠い改悪で終わってしまいそうです。自民党が公明党との縁を切り独自で政権を運営するか、もっとまともな政党と連立するか？その時まで改正はお預けで良いと思います。解釈（屁理屈）次第で軍隊（自衛隊）も持っているのだし、専守防衛と言いながら敵基地の攻撃も出来るのですから。

同盟国からの核ミサイルも国内に受け入れたら良いのです。何も同盟国はアメリカだけではありません。親日国と同盟を結んだら良いのです。インドでもパキスタンでも、イギリスでも、フランスでも、イスラエルでも。核保有国は沢山あります。今や国を守るのは一国では難しい、今も昔も「遠交近攻」が原則です。遠くの国との軍事同盟が急がれます。近隣反日国家との外交は同等以上の軍事力の保持なしにはこれまでは行えていません。ロシア、中共、北朝鮮、韓国、アメリカと。あからさまに核ミサイルを我が国に向けているロシア、中国、北朝鮮とは同じように核ミサイルを向けての外交しか方法は無いのです。

大東亜戦争では西洋諸国、中共、ロシアと戦いましたがこれからの日本は世界の国と仲良くして近隣敵国から日本国民を守ることが大切です。憲法記念日と言う屈辱の日を敗戦後70数年も祝い続けなければならない日本国民は孫の代までこの屈辱の日を続けさせても良いものか？　国の行く末を考える一番大切な日でもあるのです。今日の屈辱「憲法記念日」が。はれて日の丸を挙げられる「憲法記念日」になるように祈ります。

**つくる会東京支部長　池田元彦**

断固として国旗を5月3日掲げるのは駄目です。

保守の中に、無効論を唱える人、改訂で進めるべきだという人、色々いるが両方ともあの憲法は無効だという意味では同じだ。違いは、原則論で突っぱねる人と、

《次頁文頭に続く↓》

《↑1頁末尾より》

倫理学者は、日本の古代人の道徳観は、「清き明るき心」と解説しています。これは神に対し、偽ることのない誠実な心のことです。佐久間艦長も代々続く神官の家庭で育ちました。だから彼の心の奥底に、神の前で自分の良心を問う、自己吟味する真があったのです。

日本の政治家は、嘘偽りの数字で国民をだます世界の悪を断固拒否すべきだ。世界がそうであっても、日本は日本、我々には違う生き方があると言うべきです。かつての日本はそう言って、鎖国をしたんだよ。日本は国を閉じ、グローバルスタンダードを拒否し、信長がそうであったように、皆が勇士で、外国がせめられないような国だった。そこから日本独自の文化が生まれた。「寿司」や「歌舞伎」だ。「三味線」もそうだ。その江戸文化が今花開いている。グローバルスタンダードにノーを突きつけた指導者がこの国を導いてきたのであります。俺たちが世界を支配すると思ってやってきたイエズス会が、彼らほど優れた非キリスト教民族はいない。彼らは何よりも名誉を重んじる。と言ったんだ。極限状態の中で、佐久間艦長は気高い魂が現れたのであります。もう一度思い出そう、僕たちの先祖はそうやって生きてきたんだ。そうやって世界を魅了してきたんだ。それが日本人の徳であり誇りであります。僕の好きな聖書に「高貴な人は高貴なことを計画し、高貴なことをいつもする」とあります。人は、信じている通りにしか生きられない。今日、自分をどう信じるかが全てです。貴方は日本人として自分を何者だと思っていますか。高貴な人として、高貴な血を受け継いでいるんだから、今自分が大したことができなくても、先祖の血が泣いている。DNAが疼くでしょう。過去に気高い魂があった。気高い人達がこの国を創ってきた。気高い心を持って生きていこうではありませんか。皆、ほんとに日本人として生きていますか。

（ユーチューブ「みんな生きてる？」HEAVENESE Live　より抜粋。）

**第六潜水艇沈没と遺書**（wikiより）

・・・・・・・・

殉職した乗組員は、ほぼ全員が自身の持ち場を離れず死亡しており、持ち場以外にいた乗組員も潜水艇の修繕に全力を尽くしていた。佐久間自身は、艇内にガスが充満して死期が迫る中、明治天皇に対して潜水艇の喪失と部下の死を謝罪し、事故原因の分析を記した後、次のような遺言を書いた。

謹ンデ陛下ニ白ス　我部下ノ遺族ヲシテ窮スルモノ無カラシメ給ハラン事ヲ　我念頭ニ懸ルモノ之レアルノミ

・・・12時30分の自身の状態、そして「12時40分ナリ」と記して絶命。国外（主に欧州）では同様の潜水艇事故の折、脱出しようとした乗組員が出入口に殺到し、互いに殺し合うなどの悲惨な事態が発生していた。それゆえ、出入口へ殺到せずに最期まで潜水艇を修繕しようとしていた佐久間および乗組員の姿は大きな感銘を与えた。

《↓前頁2段目末尾より》

さはさりながら戦後70年以上は、日本人の責任で他責には出来ないのだから。日本人が出来るなら全面とっかえ、出来ないのなら、個別撃破の繰り返しと言う、戦術上違いだけだ。

しかし、5月3日国旗を揚げるなんて言うのは、有り得ません。「国旗不掲載」で当然です。

**東京　濱田大三**

私は、5/3には必ず国旗を掲揚します。先端より30cm下げて、宝珠はつけず、黒い細長い布を垂らします。

世間では半旗とか弔旗とかいうのでしょうが、その作法を知りませんので、自分なりに適当にやっています。

我々日本人をこれほどまでに苦しめ続けて居る元凶に対する、せめてもの意思表示です。何もしないよりは意思表示の機会と捉えれば良いのではありませんか？

## 安倍総理に委ね過ぎ

6/6　東京　岡田日美子

みんな、安倍総理に全部を委ね過ぎだよ：、私も含めて、みんなみんな：

安倍総理ひとりじゃ拉致問題解決なんてできないよ。改憲も安倍総理ひとりじゃできないよ。責めてばっかりじゃん。そんなんチカラになるばかりか逆にしかならないよ。ほんとにチカラになるのには、内側でちゃんと支えられる人。全部安倍総理一人のせいか。それでいいんか。そうやってきたから何ら解決も、改善も前進もしなかったんちゃうんか？

## 「日本人は『国際感覚』なんてゴミ箱へ捨てろ！（ケント・ギルバート著）」を読みました。

5/30　愛知　藤田信一

ケント氏が、とても良いことを言っていることを知りました。良き友人としてのアメリカ人の目から見た日本と日本人への提言が満載です。紹介したいと思い、参考になるところを抜粋しました。

1、「自国旗損壊の罪が無い」のは国際感覚からすると異常だ。

日本には「他国旗損壊の罪」は2年以下の懲役または20万円以下の罰金。他国は「自国旗損壊の罪」は「他国旗損壊の罪」より重い。

「他国旗損壊の罪」が無い国もある。

2、大阪市の人口は269万人。生活保護受給者は14万4600人。大阪市で1万人以上の外国人籍の人が生活保護を受けている。可処分所得にすれば10万円にも満たない月給で朝から晩まで働いている若い日本人がいる一方で、より多額の生活保護費と家賃補助を怠けものや外国人が受け取ることを「当然の権利」だという社会。

これが平等な社会といえるだろうか。

「不正受給率の割合は全体の3％なので、とるに足らない」という声もあったがこれはまっ赤なウソである。日本の詐欺犯罪の件数は人口10万人あたり約30件でわずか0.3％だ。同じ人が何件にもかかわっているから、犯罪者の人数はさらに低い。生活保護における「3％」の不正受給率が日本社会でどれほど高いかわかるだろう。現行の生活保護制度は悪の温床になっている。

3、在日米軍の負担増に応じる必要はない。在日米軍は、アメリカの国益のためにあるのだから、日本が出す必要はない。（太平洋を支配するためには不可欠。アメリカ人が言っているので説得力があります）

「米軍は出て行ってください。日本は自主防衛を進めるので、新たに対等な同盟観権威切り替えましょう。」または、「だったらお望みどおり全額負担しますから、尖閣諸島に米軍のヘリポートをつくりませんか」とでも提案すべきだ。

4、日本の健康保険制度は外国人に悪用されている。それは次のようなこと。

「外国人であっても、就労ビザや留学ビザなどを取得して3カ月以上滞在する人であれば、例外的に国民保険に加入できる」。「ズル賢い」外国人が不正に在留資格を取得して、最初から医療目的で日本にやってくる。彼らは保険料を支払うが、これは前年の給与から算出されるので、日本国内での給与実績の無い外国人の保険料は格段に安い。3割負担で高額医療を受ける。

5、

----略----

6、日本人は地震など災害に会った時、「他人様の助けは借りない」と支援を拒む人がいる。日本人にとって、それは「一方的な支援を受けたら負担になる」からだ。ところが同じ人が、国から出る特別給付金は受け取る。どうやら日本人は、「個人間の奉仕は相互のものだが、国からの奉仕は一方的でいい」と考えている。

この考え方で海外に出ると「日本は貧困国とその国民に一方的な支援をすべき」となる。しかし、国は国益に照らしてメリットの無い支援をすべきでない。それをやるのは民間ボランティアである。

ケント・ギルバートは、国はあくまで「国益」を考えて行動するものだ、と考えているようだ。「コロナの自粛」で「補償」を要求する日本人が多いのにも違和感があるかもしれない。

7、民主主義への理解が足りない人々は、直接民主主義を志向する。具体的には、選挙よりもデモで世の中を動かそうとする。（これは行き過ぎると、ポピュリズムの温床となり、国益を損ねる結果となる。）

以上、読後感想を書いてみました。

**大阪　赤阪昇二**

ケント・ギルバート氏の所感「国際感覚捨てろ」興味深く拝聴、有難うございました。

なぜ日本は外国人に甘いのか、腹立つ毎日。日本人自身も、なんか困れば、おかみに頼る傾向が非常に強くなってきた。自立の意欲の減退振り目に余るものがあります。

## 愛知　水谷雅一

●自立について

ここでの自立は経済的自立のようなので、そういう方向で考える。

出来る人は、経済的自立を目指すべき、というのが日本の姿勢として望ましい、と思う。今、自立できていない人をやみくもに支援するのではなくて、将来の自立に向けて誘導するような支援にしないといけない。（当然、自立できた人は何を成し遂げるか、というのは大事）他の国は知らないし、働けない人は致し方ないが、働かない人は増えては困る存在で推奨できない。（現在、障がい者福祉の柱の一つに「障がい者自立支援法」があります。自立を目指して頑張って下さい、ってことです。）

日本は、一部の人が働けば、地下から巨万の富がわいてくる、という国ではない。国は、適切に働けば生きていける、つまり、経済的に自立できるように、システムを構築しないといけない。働かなくても食べていけるのが人間の幸福という価値観を持った人も多様性の名のもとに受け入れるべきという意見の日本人は少ないと信じますが。

●国際感覚について

考え方自身が毒されている可能性があることを注意しないといけない、と思う。簡単なところでは、ワイドショーは「〇〇タイムズが日本の感染症対策をダメだと言っているので、安倍晋三内閣はダメだ」とか「〇〇国の対策はこういうことをやっているのに日本はやっていないからダメだ」あるいは少し変形して「〇〇国はこういう人に××円金を配っているのに日本はやっていない」もしくは「日本は額が少ない」だから「ダメだ」とか。外国に倣うべきだ、とか、外国は優れている、とかを前提にして論理?を組み立てる。

外国の事情を知って、それを伝えるのは価値がある。しかし、外国に倣うべき、という感覚は有害。日本の欧米化は明治時代に進んだが、その時外国の文化を含めて積極的に取り入れた。

――略――

今、日本政府は、欧米の覇権が日本に及ぶのを防がなければならない、という問題に集中しないといけない、という状況下にはない。どの問題に集中する、あるいは、どの問題にどれだけ取り組む、を判断しないといけない。問題設定自身を日本に合わせて考えないといけない。結局、話は国家の自立に帰っていくが。

## 五・一五事件

5/15　東京　上澤浩一

「おかみに頼る傾向が非常に強くなってきた。自立の意欲の減退振り目に余る・・・」私も全く同感です。支援金よこせ、給付金よこせ、金額上げろ。「貯金はないのか。」と言いたくなります。

先日、千里天神（大阪）の宮司にお目にかかった時、宮司は、「今はとにかくお金をばらまいて、一件でも倒産を防ぐことが重要。理屈を言っている時ではない。『超道徳的措置』だ！」と言われました。一理あるような・・・・。マスキ

本日5月15日は昭和7年（西暦１９３２年）、五・一五事件が起きた日です。

ですから、事件から８８年となります。

僕の部屋には恩師からいただいた色紙が数点、額に入れて掲げてあります。その一つが、吉原政巳先生からいただいた「留魂」と書かれた色紙です。

吉原先生は陸軍士官学校４４期、士官候補生のとき五・一五事件に参加、下獄されました。出獄された後、陸軍中野学校の教官となられ、僕が拓殖大学の学生のときには海外事情研究所の教授（後には所長）をつとめておられました。吉原先生にお願いをして、揮毫していただいた大切な宝物です。

ちなみに山口県の松陰神社において、「留魂」という単語は漢語にはなく、日本独自の単語すなわち日本語だということを教えていただきました。

我が街の図書館で、諸橋轍次先生の『大漢和辞典』を調べましたところ、「留魂録」はありましたが、「留魂」はありませんでした。…と、話が脇道に逸れてしまい、恐縮に存じます。

皆さんのご勇健をお祈り申し上げます。

## 安倍首相を断固支持する。次も安倍、次の次も安倍だ！

5/12　埼玉　村田春樹

今回の武漢ウィルス騒動で、業界人も殆ど自宅で自粛しているようで、FBは大賑わいである。安倍首相の対応が悪い、遅い、10万円だ30万円だと喧しい。しかし私は安倍首相に終身日本国総理大臣でいてほしい。その気持ちを徒然なるままに書いてみた。御用とお急ぎでない方はお目通しいただけたら幸いである。

なお、この拙文への批判物言いについては　本名の方のみ受け付けます。ハンドルネーム等偽名の方は無視します。

私が安倍首相に終身総理大臣でいてほしい理由

その1、

毎年8月15日武道館に於いて全国戦没者追悼式が行われる。天皇陛下の「おことば」に続いて首相が式辞を述べる。　平成5年の細川内閣翌年の村山内閣から、首相は「反省」することになり、以後実に平成24年まで歴代内閣は式辞で「反省」してきた。むろん朝日新聞は大喜びで中韓を使嗾し、中韓もこの「反省」を歓迎している。日本国が「反省」するということは、全力を奮て交戦に従事した朕が将兵（開戦の詔勅）が、悪いことをしたことになってしまう。そもそも反省す

べきは日本ではないのではないか。

ところが平成25年の追悼式で安部首相（第二次）は、式辞で「反省」ではなく「感謝」の誠を捧げたのである。「反省」と「感謝」は180度違う。陸海将兵は犯罪者から、英霊英雄に戻ることができた。朝日新聞はじめ左翼の怒ること！中韓も一緒になって大騒ぎだった。しかし安倍首相は意に介さず、翌26年も「感謝」の誠を捧げたのである。ありがたい、立派である。岸田文雄に、小沢一郎に、石原伸晃にこのような勇気があるのか。しかもその翌27年、天皇陛下が「おことば」ではじめて「深い反省」をされたのだ、英霊にとっては首相の式辞より陛下の「おことば」の方が遥かに重い。天翔ける英霊は再び犯罪者犠牲者になってしまったのである。ところが安倍首相はその翌28年、「感謝」に「敬意」をプラスして「敬意と感謝」を捧げたのである。

爾後29年30年、令和元年と「おことば」は「深い反省」、首相「式辞」は「敬意と感謝」のねじれ現象になってしまっている。いったい英霊はご遺族はどうしたらよいのか。戦後レジームという分厚い氷が列島を覆っているが、その氷は年年歳歳分厚くなっていることに、業界人は気が付かないのか。奴ら（連合国とその手先、敗戦利得者）は「戦後レジームという氷はまだまだ薄い、東京裁判はもの足りない。ハンディキャップ国家化をさらに徹底しよう」と、攻撃して着々と実績を挙げている。東京裁判は続いているのだ。まして、この８月15日の戦没者追悼式では、奴らはまさに「錦の御旗」を手にしている。攻勢をかけてきているのだ。安倍首相がかろうじて土俵際で踏みとどまってくれているのだ。頑張れ安倍首相。こんなに勇気ある行動を、岸田文雄にできるか！石原伸晃にできるか！河野太郎にできるか！安倍首相は来年も再来年も８月15日に「敬意と感謝」捧げ、いつの日にか錦の御旗も取り返していただき。「おことば」から「深い反省」を削除していただきたい。武漢ウィルスへの対応がどうだこうだと言っているが、そんなことどうだっていいだろ！

俵一つで踏ん張る安倍首相を、後方の安全な塹壕から撃つのはやめてくれ！

（この項の詳細は令和２年６月発売の季刊誌「保守」を御覧ください。）

私が安倍首相に終身総理大臣でいてその２、

平成28年12月安倍首相は真珠湾でオバマ大統領はじめ政府軍高官や、真珠湾生き残りの老水兵らの前でスピーチをした。

「75年がたったいまも、海底に横たわるアリゾナには、数知れぬ兵士たちが眠っています。耳を澄まして心を研ぎ澄ますと、風と波の音とともに、兵士たちの声が聞こえてきます。あの日、日曜の朝の明るくくつろいだ、弾む会話の声。自分の未来を、そして夢を語り合う、若い兵士たちの声。最後の瞬間、愛する人の名を叫ぶ声。生まれてくる子の幸せを祈る声。ひとりひとりの兵士に、その身を案じる母がいて、父がいた。愛する妻や恋人がいた。成長を楽しみにしている子どもたちがいたでしょう。それら、すべての思いが断たれてしまった。その厳粛な事実を思うとき、かみしめるとき、私は言葉を失います。」このくだりでは、涙をぬぐう老水兵の姿も映しだされた。じつに感動的なシーンであった。このような格調高いスピーチのできる首相が他にいるかだろうか。枝野？玉木？　しかし私が真に感動したのは次の一節である。

「昨日、私はカネオへの海兵隊基地に、一人の日本帝国海軍士官の碑（いしぶみ）を訪れました。その人物とは、真珠湾攻撃中に被弾し、母艦に帰るのをあきらめ、引き返し戦死した、戦闘機パイロット、飯田房太中佐です。彼の墜落地点に碑を建てたのは、日本人ではありません。攻撃を受けていた側にいた、米軍の人々です。死者の勇気をたたえ、石碑を建ててくれた。碑には祖国のため命をささげた軍人への敬意を込め、「日本帝国海軍大尉（だいい）」と、当時の階級を刻んであります。

The brave respect the brave.

「勇者は、勇者を敬う」

アンブローズ・ビアスの詩は言います。戦い合った敵であっても、敬意を表する。憎しみ合った敵であっても、理解しようとする。そこにあるのは、アメリカ国民の寛容の心です。」

涙を禁じえない。安倍首相は我が海軍軍人を全世界の前でBrave（勇者）と呼んでくれたのだ。南溟に散ったあまたの将兵の御霊はこの言葉で救われたのだ。犠牲者でもないましてや犯罪者でもない、祖国の為に雄々しく戦った勇者なのだ。しかも安倍首相は海軍大尉（だいい）と発音している。陸軍は大尉（たいい）だが、海軍は大尉（だいい）である。こういうスピーチを安倍首相以外誰ができるというのか。岸田文雄か？小泉進次郎か？武漢ウィルスへの対応がどうだこうだと言っているが、そんなことどうだっていいだろ！

その３、

――略――

他にも理由はありますが、紙数が尽きました。私が安倍首相に終身やってほしい気持ちをおわかりいただけたでしょうか。「いや、安倍でなくても西村真吾ならやってくれる。」と言う方もいらっしゃるでしょう。その通りです。しかし、ご批判ご叱責いただくならば、現実的にお願いしたいと存じます。

～～～

# 川内時男元公立中学校長の教育直言

元徳島県立中学校校長　川内時男

## 12、きれい事を言う教育学者よ、証拠（エビデンス）を示せ！（3/15）

エビデンスという言葉を聞いたことがあるでしょうか。ざっくり訳しますと「証拠」という意味です。でも・・・わかりにくいですね。分かりやすく例をあげて説明します。ここにA、B二種類の薬があるとします。

Aという薬は偉い学者先生が高度な理論に基づいて開発した薬ですが、実際には患者の病気を治せませんでした。一方Bという薬は昔からの言い伝えがあるだけで何の理論的裏付けもない薬ですが、実際には患者の病気を治せました。さてどちらがいい薬でしょう。答は、言うまでもなくBです。

なぜならBには「患者を治した」という証拠、即ち「エビデンス」があるからです。Aにはそれがありません。ですから、どんな立派な理屈（ヘリクツ）がついていようとも、その薬は片栗粉ほどの価値もないのです。

薬を開発した学者先生には気の毒ですが、役に立たなければ何の価値もないのです。それが科学というものです。と同時に、その薬に関する高邁な理論も「空論」と言うことになるのです。

実は現代の教育界はエビデンス（証拠）に基づいて結果を調べることをほとんどやっていません。

「こういう教育をすれば、こうなるはず」と考えて、新しい教育をする、まではいいのですが、果たしてそのとおりの結果が出たのかどうかはあまり調べようとはしないのです。言ってみれば実験をしない理科の授業のようなものです。これではきれい事の空論がまかり通るのは当たり前です。その典型なのが「ゆとり教育」です。これについては次回詳しく述べます。

## 13、世紀の大愚策「ゆとり教育」！（3/18）

「ゆとり教育」は昭和55年から本格的に実施されました。

「教科の枠にとらわれることなく、子供達の興味・関心を重んじ、主体的に学ばせることにより、生きる力を養う」と言うことでした。何と！目もくらむばかりの美しい言葉ではありませんか。突っ込みどころ満載ですが、言葉の響きはきらめくばかりに美しい。このような言葉には注意しなければいけないのですが、お花畑のような言葉が好きな学者先生やマスコミは、深く考えることなくこれを褒めちぎり、一斉に飛びつきました。これによって、学校週五日制、学習内容の三割削減、授業時数の削減が行われ、また遊び半分のような「総合的な学習」が取り入れられました。

学者先生達の考えでは、「ゆとり教育」によって「子供達が学習に興味・関心をもち、落ちこぼれがなくなり、学習意欲が高まり、学力が向上するはず」というものでした。三流学者の言う「こうすればこうなる『はず』」の典型です。

当時これに異論を唱える教師達も多くいました。また心ある学者の中からも疑問の声が上がりました。しかし、注目すべきは一番最初にに反対の声を上げたのは他ならぬ保護者達だったということです。「こんな教育では子供に学力がつかない」という当たり前の意見です。言うまでもなく保護者は学校教育に関しては全くの素人です。その素人の言うことの方が正しかったのです。実際この教育によって子供の学力は悲惨なほどに下がりました。つまり学者先生達の言う「こうなる『はず』」の考えは全く外れたのです。あきれたものです。肩書きだけで生きている学者の言うことなど、所詮この程度なのです。

さすがにこれを見た文科省は「ゆとり教育」から「学力充実」へと舵を切りました。つまり偉い学者先生の考えより、教育に素人である保護者の考えの方が正しかったのです。

## 14、恥を知らない文部官僚（3/22）

前回はゆとり教育が無残な結果に終わったことについて述べましたが、これについて文科省は案の定「ゆとり教育は、理念は正しかったが学校現場の理解が不足していたために・・・」との弁解をしました。つまり、自分たちの政策ミスを反省することなく、学校現場に責任を転嫁したのです。この馬鹿げた教育を推進したのは当時文科省で大臣官房審議官をしていた寺脇研です。彼はその後、大臣官房広報調整官に降格されましたが、彼が社会に与えた損失を考えますと、なんと軽い処置でしょう。

それにしても寺脇研という人物の神経の図太さ、普通の人ならまともに世間様に顔向けできないはずなのですが、彼はその後も何食わぬ顔でテレビに出演し、すでに破綻した「ゆとり教育」の正しさを主張し、未だにおとぎ話のような教育論をまき散らしています。何という厚顔無恥！

厚顔無恥と言えば、文科省には「貧困調査」で名高い前川喜平という事務次官がいました。教育界の最高峰に君臨する事務次官が、あろうことか十代の少女相手に援交まがいのことをしていたのです。彼は天下り斡旋問題の責を問われ、職を追われたのですが、その後彼は臆面もなくマスコミに顔を出し、今は左翼勢力から「反安倍」の旗印として祭り上げられています。

「恥知らず」という言葉は彼のためにあるのでしょう。

前川喜平、そして寺脇研、こんな恥ずべき人物が口にする「きれい事の教育」が教育界をかき回してきたのです。そして今もそれは形を変えて深く教育界に根をおろしています。きれい事で塗り固められた教育、子供の実態とかけ離れた脳内お花畑のような教育、これらを教育現場から一掃するためには、一日も早く教育に科学を取り入れ、確たる科学的根拠に基づいた教育に変えていかなくてはなりません。これが私が主張する「教育近代化」です。

# 杉田兼一の歴史・時事研究室

「草莽の記」より
https://plaza.rakuten.co.jp/seimeisugita

## シドニー湾への特殊潜航艇の攻撃　伴勝久少佐慰霊

2020.05.31

今日はオーストラリアシドニー湾への特殊潜航艇の攻撃の日であります。wikiの記事によれば

シドニー港攻撃を実施した部隊は、真珠湾攻撃でも「特潜」部隊を率いた佐々木半九大佐が指揮官。1942年（昭和17年）5月31日17時20分、「特潜」3隻はシドニー港外に進出した母潜から出撃した。伊22の松尾敬宇艇、伊27の中馬兼四艇、そして伊24から伴艇という順序である。

中馬艇が防潜網にスクリューがからまり、中馬と大森猛（艇附）は艇を自爆させ自決。松尾艇は哨戒艇や駆潜艇の攻撃をかわし、出港しようとしていたシカゴの雷撃を図ったが、発射管故障により発射することができず、松尾艇は同艦へ体当たりを行った。しかし小接触におわり、頭部の魚雷は爆発せず、松尾と都竹正雄（艇附）は艇内で自決した。伴艇は米重巡洋艦シカゴに接近しつつあったが、見張員に発見され対空砲による砲撃を受けて損傷する。

このため一度退避してから、シカゴに魚雷２本を発射した。１本はシカゴ付近を通過して岸に乗り上げ不発に終わり、他の１本はシカゴとオランダ潜水艦ＫＸ（ＫＸ）の艦底を通過したのち、宿泊艦クッタブルの下で岸壁に当たって爆発。同艦は沈没し、21名（または19名）が戦死した。（記事転載以上）

中馬艇と松尾艇は引き上げられ、1942年（昭和17年）６月９日、シドニー近郊のロックウッド・クリマトリア斎場にて遺体は海軍葬をもって葬られた。シドニー市内では彼ら敵国の軍人を丁重に弔うことに反対の声も大きかったが、オーストラリア海軍司令官・ジェラード・ミュアヘッド＝グールド（英語版）少将は部下に対し、以下の様に演説した。

「私は敵国軍人を、海軍葬の礼をもって弔うことに反対する諸君に聞きたい。勇敢な軍人に対して名誉ある儀礼をつくすことが、なぜいけないのか。勇気は一民族の私有物でもなければ伝統でもない。これら日本の海軍軍人によって示された勇気は、誰も認めるべきであり、一様に讃えるべきものである。このような鉄の棺桶に乗って死地に赴くのには、相当の勇気が要る。これら勇士の犠牲的精神の千分の一でも持って祖国に捧げるオーストラリア人が、果たして何人いるであろうか」

勇者は敵兵なりとも勇者の心を称え礼儀をもって対処する。ペリリュー神社に「諸国から訪れる旅人たちよ　この島を守るために日本国人がいかに勇敢な愛国心をもって戦い　そして玉砕したかを伝えられよ」の文を残した　米太平洋艦隊司令長官ウィリアム・ニミッツ提督しかり。まともな国の軍人は勇者の心に応える。日本の武士道に似た精神を彼らも大切にしているのである。

此の伴艇の艇長が伴勝久少佐。没年齢は25歳。今日がご命日のため愛知県内高浜市の市役所近くの観音寺に慰霊に一人、行かせていただいた。小高い丘の上に立つ観音寺には立派な観音様が立てられて遠くからもよく見える。しかし道が入り組んでおりなかなかたどり着けない。女子高生に案内していただきやっと現地に。立派な碑が立てられている。建立は昭和26年。遺体も沈没した伴艇も見つからない中、ご両親の手で建立されたもののようであります。

殉國義士碑　の裏面には　故陸軍大尉伴正巳大尉と　故海軍少佐伴勝久少佐の略歴が掘られていた。

弟さんでありましょう正巳氏はミャンマーのインパール作戦にも従軍されたとあった。19年、23歳の若さで切り込み隊隊長としてお亡くなりになられた勇敢な陸軍大尉。

お二人を日本のために送り出されたご両親。それを思うとまことに哀しくしばし呆然とたたずんでいた。

伴艇はシドニー攻撃の64年後、平成18年になって発見された。中日新聞記者、東京新聞文化部次長を経て作家になった豊田穣氏は海兵の同期生。発見出来次第引き上げを段どりされていたが、しかしご家族の意向で引き上げはされず、海底にてそのまま永遠の墓となる。豊田氏は「小説東京裁判」（昭和58年発行）の著者でもあります。

勝久氏は刈谷中学の御卒業。300人クラスであった海兵68期生であった。68期生288名は大東亜戦争で200名の戦死者を出した。戦死率は69.4%、ものすごい比率であります。三河の偉人でありますので先輩に、何とか慰霊祭がなせないかを打診したが大げさにした訓愛とのご家族の御意向だそうで僕らは断念した経緯がある。しかし心ある方にはぜひご参拝いただきたいものです。

〜〜〜

# 今月の新聞報道・ニュース等

## 大阪市と人権博物館の和解成立 退去条件に賃料免除

6/19(金) 産経新聞

大阪人権博物館（通称リバティおおさか、大阪市浪速区）をめぐり、土地を所有する市が立ち退きや賃料の支払いを求めていた訴訟で、博物館の退去を条件に賃料計約１億９千万円を免除する和解が１９日、大阪地裁で成立した。

市は昭和６０年の開館から市有地を無償貸与してきたが、橋下徹市長（当時）が展示内容を問題視し、平成２５年に補助金を全面停止。月額約２５０万円の賃料支払いなどを求めたが、博物館側と折り合わず、２７年に市が提訴した。

博物館は６月１日に閉館している。石橋武理事長は会見で「現在の場所から去らなければならないのは残念だが、令和４年をめどに別の場所での再開を目指したい」と話した。松井一郎市長は「今後、博物館事業に関する協力などの申し込みがあった場合は、市民が納得できる内容かどうかを、個々に判断し対応していく」とコメントした。

〜〜〜

## 誹謗中傷への非難強まる一方で…フィフィ「著名人が政治家を馬鹿にするツイートしまくってる違和感」

5/25(月) スポニチ

タレントのフィフィ(44)が25日、自身のツイッターを更新。ネット上の誹謗中傷を非難する声が高まる中での私見をつづった。フィフィは「ネットの誹謗中傷に対して非難の声があがる中、一方で著名人が政治家を馬鹿にするツイートしまくってる違和感」とポツリ。「相手がタレントでも人間！って批判しておきながら、政治家なら平気で罵る」と指摘した。

「ちなみに私人なのに安倍昭恵さんのインスタとか酷いよ」と安倍昭恵首相夫人のSNSのコメント欄を例に挙げ、「言論の自由って?都合よすぎ」とつづった。

〜〜〜

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPO法人百人の会

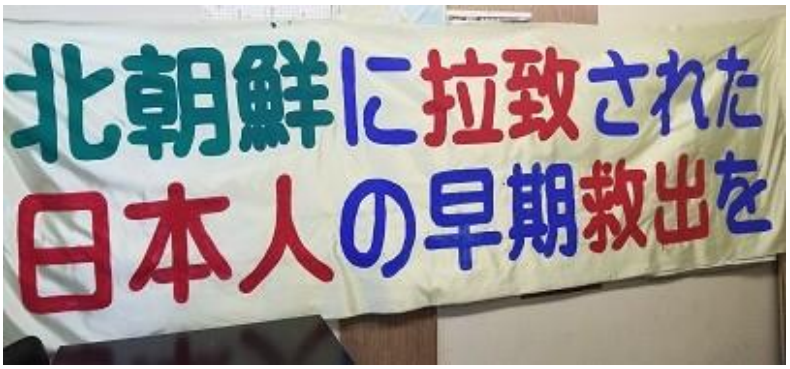
●第41（通算108）回定期勉強会
　コロナウイルスのため、理事会ができません。定期総会の打ち合わせのため、関係者には5/13発送の書類でご審議いただき、今年度総会に関し、書面で行うことが了承されました。（35通発送、議事承認返信18通）
●第41（通算108）回定期勉強会
コロナの動向を鑑み、できるだけ早く開催したいと考えています。
●第11（22）回定期総会
　前記同様総会が開催できませんので、今回は書面審査で議事の可否を問いました。社員会員69名に5/13、書類を発送し、39名から「理事長に委任」と言う返答を得ましたので、議案は承認されました。詳細はHPアップしています。

## 台湾人日本国籍確認訴訟

・第1回口頭弁論　東京地裁
R2-3-19 ウイルスで延期。
7/1、原告被告の代理人、裁判所で今後進行協議を行うようです。第1回は9月頃になりそうです。

## 編集後記

北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの父、滋さんが6/2亡くなり、先日深夜、TVで横田さんの特集番組が放送された。自民党前の座り込みや、東京での街頭署名、神戸での街頭署名。私が作ったお手製の画板や、救う会大阪のシンボル黄色のジャンパー。自分の25年間の活動史を見ているようだった。
　この25年間、活動中の葛藤や、微々たることでの確執や口論。こだわり。なぜもっと大人になれなかったのか悔やまれる。
　横田さんにはただただ申し訳ない。
　ここ10年ほどは横田さんにお会いしていない。それまで、「もうじき帰ってきますよ。もうちょっと頑張りましょうよ。と言い続けてきた。「いつまで頑張ったらいいの。」と問われたらもう言葉がないのだ。
　半年ほど前、兵庫県川西市のおつること中曾千鶴子議員が、彼女は毎月1回、阪急川西市駅頭で、私が10年ほど前に作った横断幕を愛用し街頭署名をしているのだが、汚れが激しくなり、洗濯機に放り込んだらボロボロになり使えなくなったという。「いいよ。また作るから。」などと言い、コロナのこともあり、放置していた。正直、結構めんどくさいので逃げていた。横田さんゴメン。
　次回は、27日（土）夕方6時半からいつものように阪急川西駅頭で街頭署名をやるという。何が何でもこれには間に合わさないといけない。20数年前、横田さんと「できることは全部やります。」と約束したから。
　皆さん、各位の環境の範囲で、できることは全部やりましょう。今、街頭署名は1300万筆。全国民の1割にしかならない。せめて3割。北は見ています。言いも悪いも民主主義の日本。安倍さんを動かすには署名しかない。
　拉致された被害者の、生存しているご両親は数名になってしまった。
救う会大阪代表　増木重夫




## 活動資金ご協力のお願い

郵便振替 00980-8-245547　MASUKI情報デスク
ゆうちょ銀行 089-0245547　MASUKI情報デスク
三菱UFJ銀行 千里中央店 0041349 普通 増木重夫

　まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。マスキ情報デスクは後記団体にご縁のあった人の名簿を管理し、『M情報活動報告』を毎月全国約5千（目標1万）部（議員4割）発送しています。
　私どもは子供達に誇りある国を残すため必死で戦っています。ところが問題は活動資金。何卒ご協力をよろしく。
※このM情報は特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願いいたします。

○カンパ金の主な使途は、下記サポート団体の、活動の資料等の発送費・道路、公園使用料・交通費、通信費・資料、ビラ等の制作・備品購入費等
○M情報が管理・サポートしている主な団体
・NPO法人百人の会　・救う会大阪
・憲法一条の会・英霊を被告にして委員会・台湾人日本国籍確認裁判等
◇　前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

## 原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等どんどん表記事務所までお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から情報が送られてきます。それをメールで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを（発信名義「NPO法人百人の会」）。